

## 北山川観光筏下り事故状況報告書

### ○事故状況について

事故発生日 平成20年8月1日 午後1時30分～40分頃

場 所 音乗り筏乗り場下流約1kmの北山川左岸側

(川名通称 焼山の瀬)

### 状 況

北山川観光筏第2便、1号筏が北山川左岸の岩に当り、1番床、2番床を擦りながら通過したが、3番床が水中の岩に当り衝撃が生じ、その際、乗客が前に倒れ、手すりや他の乗客に衝突し負傷する。

### 怪我人について

乗船者15名のうち、9名（男性2名、女性7名が負傷する。）

66歳男性が左手首骨折、41歳女性が左目まぶたを数針縫う

怪我をする。

### 筏師について

3名で運航を行っており、各筏師の経験年数は、1、先乗り（11年目）

2、舵取り（6年目） 3、後乗り（3年目）となっており、ベテラン

の筏師を含めた体制とし、安全な運行を確保している。

## ○事故原因

筏下りは、自然の川の流を下っており、毎日変わる流れや風を筏師が判断しながら緊張感を持って運航をしている。

事故現場については、川の流れがあるため、また、その下流の岩を避ける必要があるため、左岸を通ることは避けられない状況である。

同じ筏師のメンバーで、何度も通過していた箇所であるが、今回の事故については、1番床、2番床は通れたが、3番床が流れの影響もあり水中の岩に当り衝撃が生じた。

## ○今後の安全対策

8月2日、事故対策委員会を設置し対策の検討を行った。

検討の結果、下記の通り対策を講ずることとした。

- (1) 当分の間、安全確認がされるまで筏運航を中止する。
- (2) 運航コース全体について試験下りを実施し、再度の安全確認を行い対策が必要と思われる箇所については川造り等の対策を講ずる。
- (3) 試験下りに併せて筏師全員による安全運航実地研修を行い 筏師全員が安全運航の認識を更に高める。

以上の安全対策を講じた後、安全確認を実施するとともに、負傷されたお客さんにも今後の安全対策をご理解頂いた上で運航再開をしたい。

## ○負傷された方への対応

負傷された方々へは、誠心誠意の対応を行う。

・ 8月2日～5日にかけて、負傷された方々に対し、村長自ら、または職員が、負傷者宅へお詫びと御見舞にお伺いする。

## ○運航再開について

怪我をした人の心情を第一に考え、運航再開について理解が得られた上で、また、全コースの安全が確保された時点で運航を再開する。

8月3日（日）に事故対策委員会による試験下りを行い、事故現場の確認、安全対策の検討を行った。

8月4日（月）、5日（火）に、あて木等の設置及び、運航の安全を確認する。  
再開時期については未定。

## 北山村長のコメント

北山村長の奥田でございます。

この度は、北山川観光筏下りにおいて 9 名の方々が負傷されるという事故を起こし皆様に多大なるご迷惑とご心痛を与えましたこと誠に申し訳なく心から深くお詫びを申し上げます。

負傷されました皆さま方には 1 日も早く回復されることを願っております。

あってはならない事故を起こし、楽しい思い出を創るべき日が暗転の日となってしまった事に対しまして、心からお詫びと謝罪を申し上げます。

負傷された皆様方には誠心誠意の対応をさせて頂き 1 日も早く回復して頂けるよう最善を尽くして参ります。

今後は、この事故を教訓として二度と同じ過ちを犯すことのないように事故要因の究明と安全対策を講じ、皆様に喜んで頂ける観光筏下りを目指して参りますので、皆さま方の温かいご理解を賜りますようお願い申し上げます。

改めまして、負傷された皆さま方の 1 日も早い回復をお祈り申し上げ私からのお詫びといたします。